

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズ☆station近江八幡		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (35人)	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ハード面では個室が多くあるので、御利用者さんのニーズにあった支援をする事ができる。 ソフト面では理念の元御利用者さん、ご家族さんに寄り添う支援をする事で、安心して御利用する事ができる。	個室が多くあるので、個々の療育、過ごしに必要な物を揃えて活動できるように心がけている。	職員の数は規定の人員を満たしているが、個別に支援が必要な御利用者も増えて来ている事から、更に職員を増やして、内容のある療育・安全、安心に過ごせる居場所づくりに力を入れていきたい。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段があり、安全面で転落のリスクがある。手すり配置、階段一段ずつに滑り止めをしている。 階段の中央に踊り場があるので、職員を配置すく事で転落のから御利用者を守りたい。	送迎が多方向、長距離に及ぶコースもあり、運転の出来る職員を採用、運転の教育を行いたい。	管理者、児童発達支援管理責任者が、外部研修、会議等に参加している事に基づいて、支援ミーティングを行っているが、ミーティング、会議の主旨を理解出来ていない職員もいて、職員指導を確実にしたい。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス キッズ☆station近江八幡

公表日 令和7年 月 日

利用児童数 35人(保護者29人に配布)

回収数 23枚

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1	0	2	建物がビルで少し狭そう。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	6	何人いるか知らない。	契約時に説明、面談時等にも伝えていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	0	6		階段には手すりを設置、足元には滑り止めを取り付けている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	5		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	0	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21	1	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	3	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	2	3	8	あってほしいですが子どもの特性により現実的に難しいところはあると思います。	児童館などで地域の子供達と関わりの場を増やす
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	7	8		必要と思われた家族には行ってきたが家族全体的に取り組む
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	4	3	2	面談はあるが助言があるのかわからない。	個別支援計画以外の面談回数を増やす
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	8	9	保護者の方と話す機会があれば参加してみたい。	面談時に保護者に必要性を確認する。音楽活動等を通して兄弟で舞台上立つ等を検討している。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	4	0	2		
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	1			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	0	7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	喜んで通所しているのがありがたいです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズ☆station近江八幡		公表日		令和7年 3月 3日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	部屋数が多く個々に合わせて遊びや休養ができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	6	配置基準は満たしているが、個別支援の必要な御利用者の為に更に職員の募集をしている。	職員不足で行き届いた支援が出来ていない。曜日など利用者の状況によって厳しいことが増えてきている。送迎が困難となる日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	階段があるためバリアフリーとは言えないが、手すり設置。蛍光灯が割れる事による事故を防ぐ為蛍光灯の数をあえて少なくしている。	階段がある事と2階まで上がらないと排泄ができないという不便を感じる。トイレの便座、部屋の適度な明るさが乏しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	日々、玩具・活動に使う箇所に消毒をしている。	マットの汚れやトイレの便座等に清潔さを感じられない→新しいものに随時交換
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	こどもたちの、活動に必要な、物をそれぞれの部屋に配置し安心して使用する環境になるように心がけている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	毎月定期的に会議をしている。パート職員が全員参加出来ていないので、情報の共有をしようとしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	保護者の意見を集約し改善に結びつけるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	管理者・主任がまとめておこなっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	外部コンサルタントに書類をチェックしてもらっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	虐待・感染・災害など内部中心だが外部も行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	ホームページに掲載している。 お便りと一緒に全利用者に配布済	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	毎月、職員間で話し合いを行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	正規職員全員で毎月ミーティングを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	3	正規職員全員で毎月ミーティングを行い、情報を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4	放課後等デイサービス用アセスメントシートを利用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	支援内容を本人をよく見て支援設定している。5領域を意識している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	正規職員全員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	外出・食育・工作などの偏りのないようにしている。季節の行事を活動プログラムに取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	一日御利用の時は午前個別活動、午後集団活動を計画。	集団活動が少ないのではないかとと思う。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1		行き当たりばったりの時もあれば簡単に打ち合わせが終わってしまっていて具体的な事が話せていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	送迎終了後の時間は確保が難しいため、次の朝の時間を有効に使う。	振り返りが出来ている場合もあるが、来ていない日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	記録を相談事業所と情報を共有し支援の改善をしている。	記録を取るだけで検証・改善につなげていないのではないと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	定期的にモニタリングを全体で行い見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	2	4つの基本活動を意識している。地域交流の場は音楽グループと定期的に活動を共にし地域の方にも見学に来ていただいている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	毎日のおやつを数種類の中から自己選択していただいている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	支援が必要な家族、ご利用者のケース会議に定期的に参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校より、行事予定のプリント等をもらう。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	自発の相談員から情報を得ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	作業所のサビ管理責任者に放課後等デイサービスでの過ごしを報告している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	必要時に児童発達支援管理責任者がスーパーバイズの研修を受ける	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	地域の公園、児童館などに行った際に一緒に遊んだりする。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	放課後等デイサービスを代表して参加される方から情報を得ている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	送迎時に行っている。ラインや電話で共通認識を得るようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	家族支援が必要な保護者には実施している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に丁寧に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	利用者に寄り添う事を基本理念としており、利用者の思いを受け入れる。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	保護者様に連絡を入れ、施設に来所して頂くか、家庭訪問し説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	例えば不登校になった児童の御利用者の相談に乗らせてもらい、保護者様の不安を解消するようアドバイスを送らせて頂く	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	7	コロナ後、保護者会の発足について、御利用者さんの保護者に意見を聞いている現状である。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	施設内で起こった事については、職員間の報告連絡相談を密にし、管理者から迅速に対応している。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月通信を発行し、キッズ☆stationの活動内容・支援内容・行事プログラムを掲示している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵をかけて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	視覚支援に力を入れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	音楽のグループとともに活動をしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	通信を使い周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		BCPを策定後、みんなで情報共有し、一人一人がしっかりと把握し、定期的に必要な訓練をしていかなければならない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	ファイルに全て記載している。	一覧表にしたらい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	ファイルに全て記載している。 記録の表紙に大きく記載している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	安全計画の外部研修に職員参加、伝達講習も実施。訓練は半年に一度実施	時間を十分に取り、職員全員で話し合い、施設内の点検等も怠らないようにしなければならない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	安全面で特に配慮の必要な送迎車内、来所時・送迎車に乗車時等は十分注意するようにし、送迎後等に直接家族に伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	定期的にヒヤリハット会議をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	全職員に定期的に研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	身体拘束に該当する利用者は現在おられないが、行う必要がある場合はどのようにすればよいか	